

スタディ・ツアー

「岡倉天心ゆかりの地・五浦を訪ねる旅」

今年天心・岡倉覚三の生誕150年、没後100年にあたります。岡倉覚三が創立した日本美術院は、明治39年に下村観山や今村紫紅らの画家を伴って五浦に移転しました。原三溪が物心両面から支援した画家たちの指導者であった岡倉覚三は、この五浦の海岸でどのような夢を描いていたのでしょうか。



←茨城大学の小泉晋弥教授から、岡倉天心の業績や思想についてご講話をいただきました。さらに、茨城県天心記念五浦美術館の岡倉天心記念室の展示を案内していただきました。



↑五浦岬公園には、今年公開の映画「天心」の撮影ロケセットとして建てられた日本美術院研究所があります。実際の研究所は別の場所の断崖絶壁にありました。

←五浦岬公園から六角堂を望む。入り江に波の音が鳴り響きます。



↓六角堂や旧天心邸などの天心遺跡は、茨城大学五浦美術文化研究所にあります。天心が建てた六角堂は東日本大震災の津波にさらわれましたが、平成二十四年四月に、明治三十八年の創建当初の形で復元されました。



→岡倉天心は新潟の赤倉で亡くなり、その墓は東京の染井墓地と五浦にあります。五浦の墓は土饅頭です。

